

第 2 章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

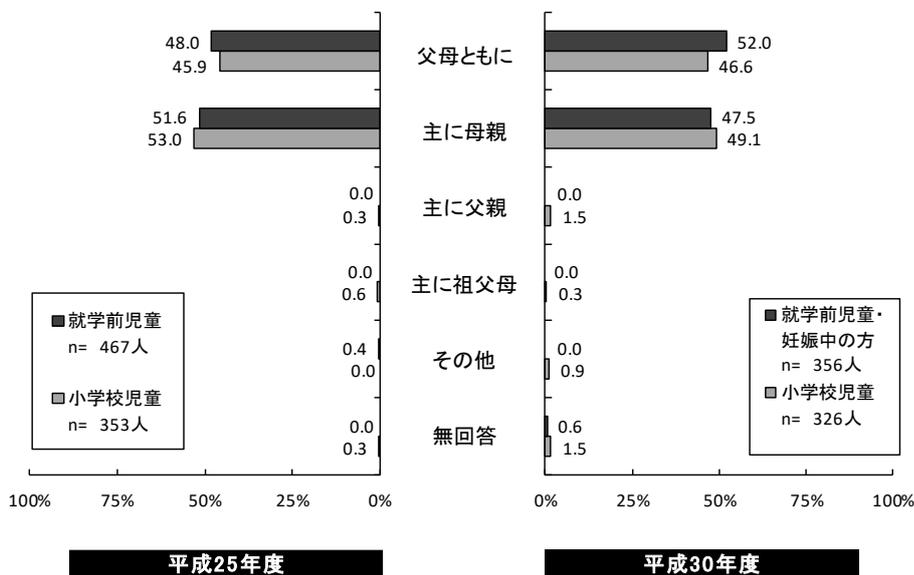
1 子育ての環境について

(1) 主に子育てを行っている方と親族等協力者の状況

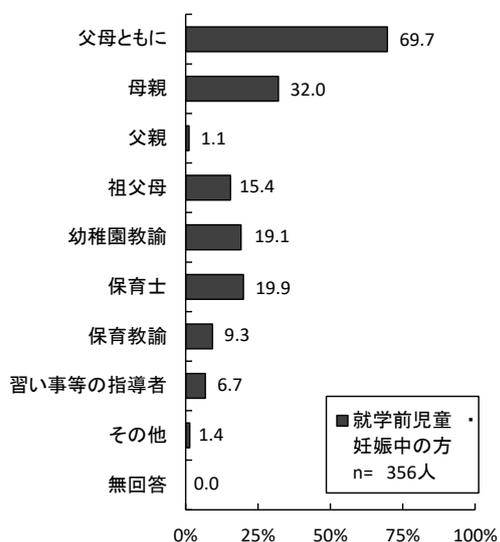
主に子育てを行っている方の状況を見ると、「父母ともに」は就学前児童、小学校児童ともに、前回調査から増加し、「主に母親」は減少しています。

日常的に子育てに関わっている方（施設含む）は、「父母ともに」（就学前児童 69.7%）、子育てに影響を与える環境は、「家庭」（就学前児童 96.9%）が最も多くなっています。

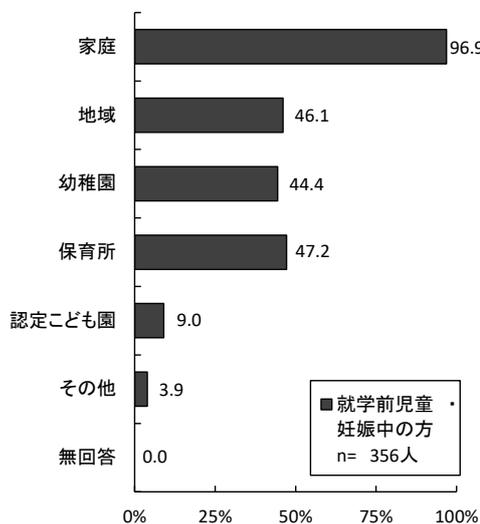
問8[問6] 主に子育てを行っている方の状況【経年比較】



問9 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



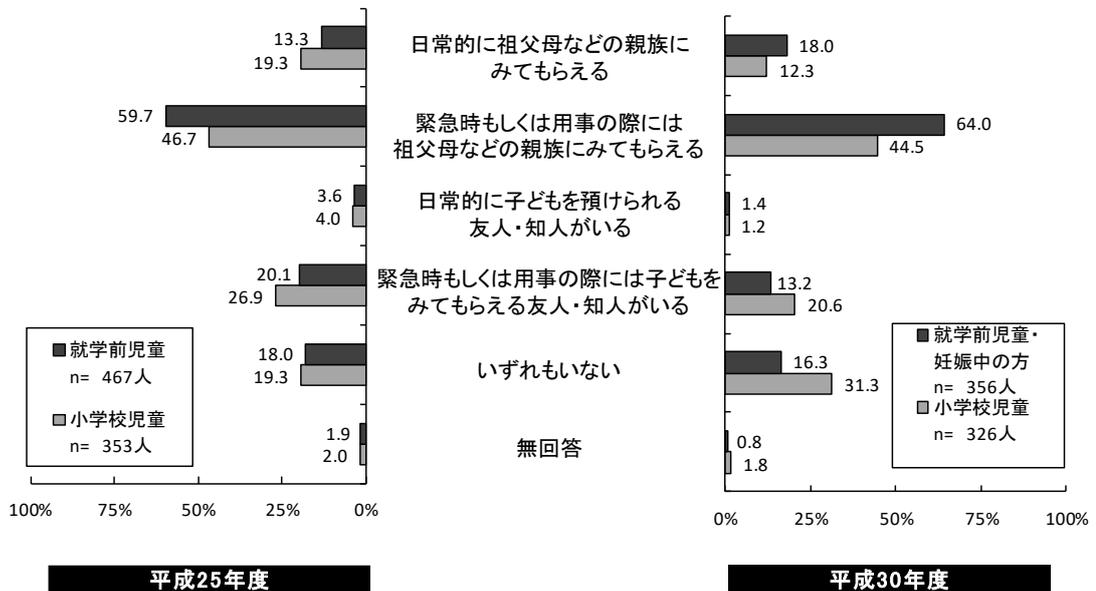
問10 子育てに影響を与える環境



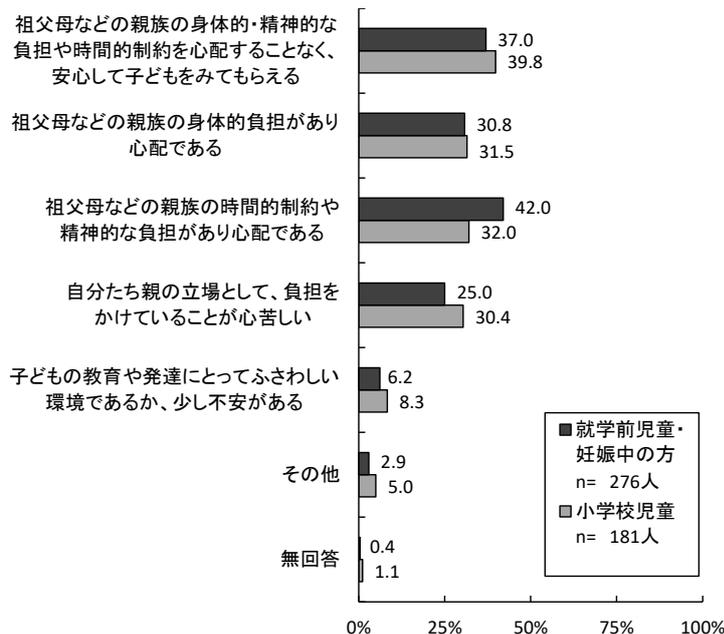
主な親族等協力者の状況は、前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は就学前児童で増加し、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」は小学校児童で減少しています。「いずれもない」は、就学前児童 16.3%、小学校児童 31.3%となっています。

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えは、「祖父母などの親族の時間的制約や精神的負担があり心配である」（就学前児童 42.0%）、「祖父母などの親族の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（小学校児童 39.8%）が最も多くなっています。

問 11[問 13] 主な親族等協力者の状況【経年比較】

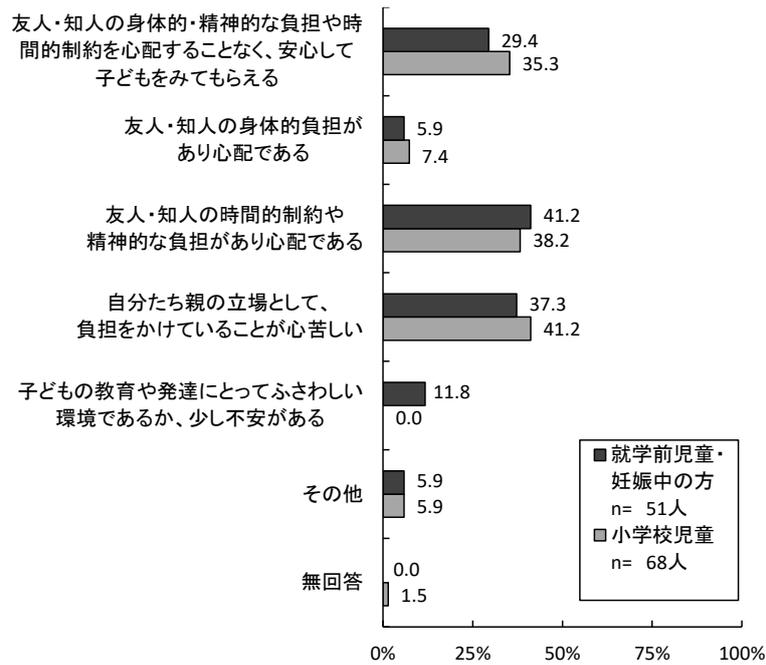


問 11-1[問 13-1] 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



友人・知人に預かってもらうことへの考えは、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担があり心配である」(就学前児童 41.2%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(小学校児童 41.2%) が最も多くなっています。

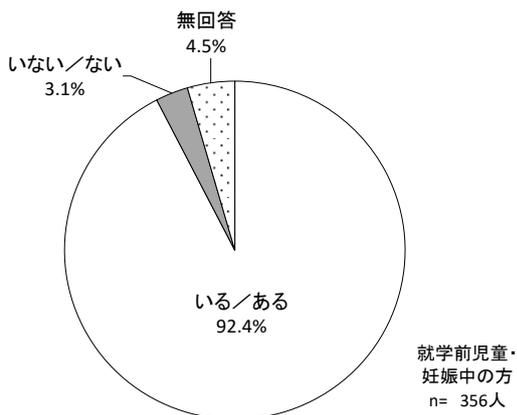
問 11-2[問 13-2] 友人・知人に預かってもらうことへの考え



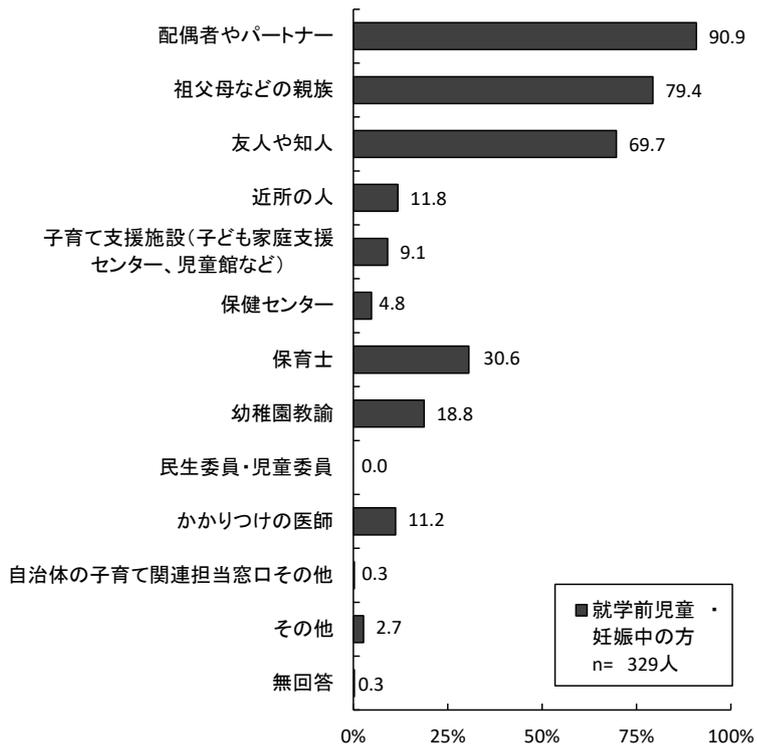
(2) 子育てに関する相談者の状況

気軽に相談できる人の有無は「いる／ある」(92.4%)となっています。
 気軽にできる相談者の状況は「配偶者やパートナー」(90.9%)、「祖父母などの親族」(79.4%)、「友人や知人」(69.7%)が多くなっています。

問 12 気軽に相談できる人の有無



問 12-1 気軽にできる相談者の状況



2 保護者の就労状況

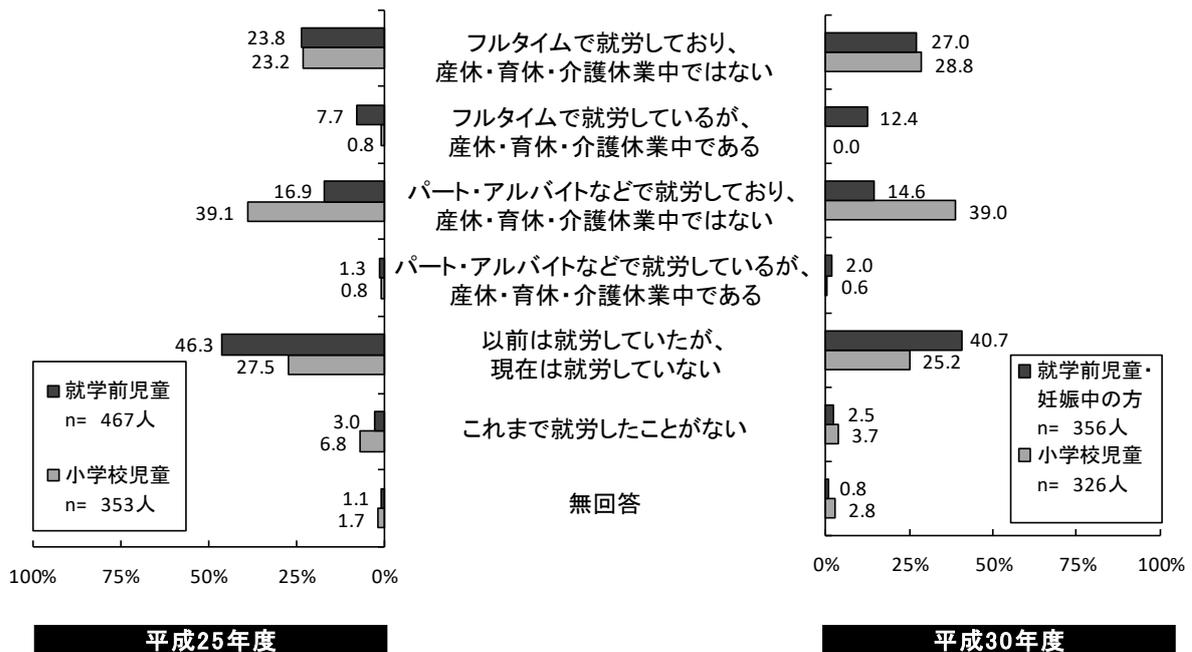
(1) 母親の就労状況

母親の就労状況について就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」(40.7%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(27.0%)となっています。

小学校児童では「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(39.0%)が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(28.8%)となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は減少しています。

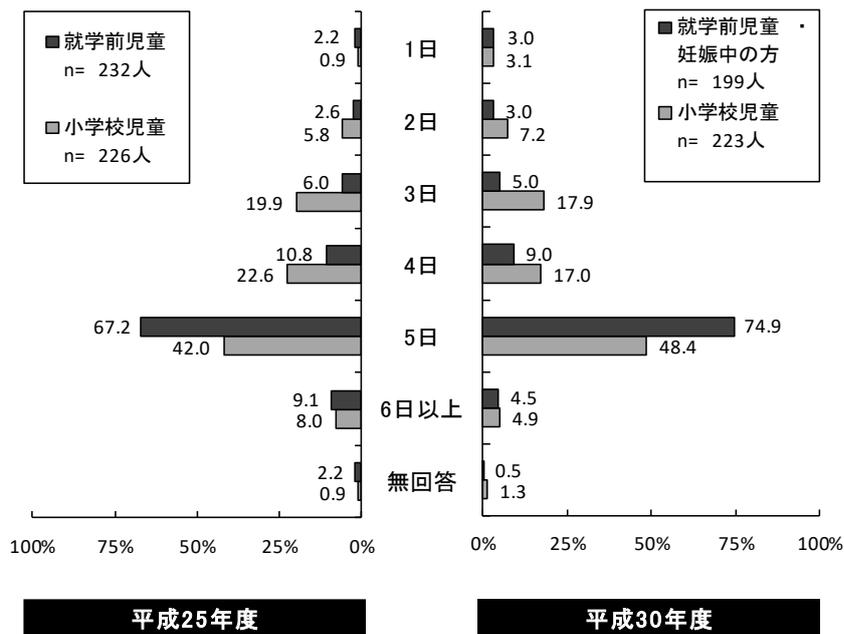
問 14(1)[問 7(1)] 母親の就労状況【経年比較】



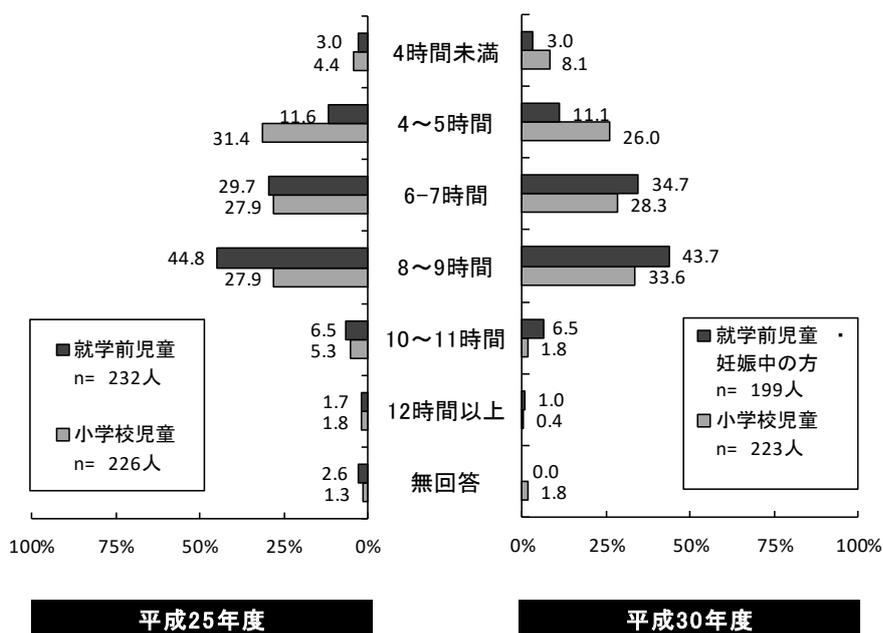
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」(就学前児童 74.9%、小学校児童 48.4%)が最も多く、1日当たりの就労時間は「8～9時間」(就学前児童 43.7%、小学校児童 33.6%)が多くなっています。

前回調査と比較すると、就労日数は「5日」が増加しており、就労時間は就学前児童で「6～7時間」、小学校児童で「8～9時間」が増加しています。

問 14(1)-1 [問 7(1)-1] 母親の就労日数 (1週当たり) 【経年比較】

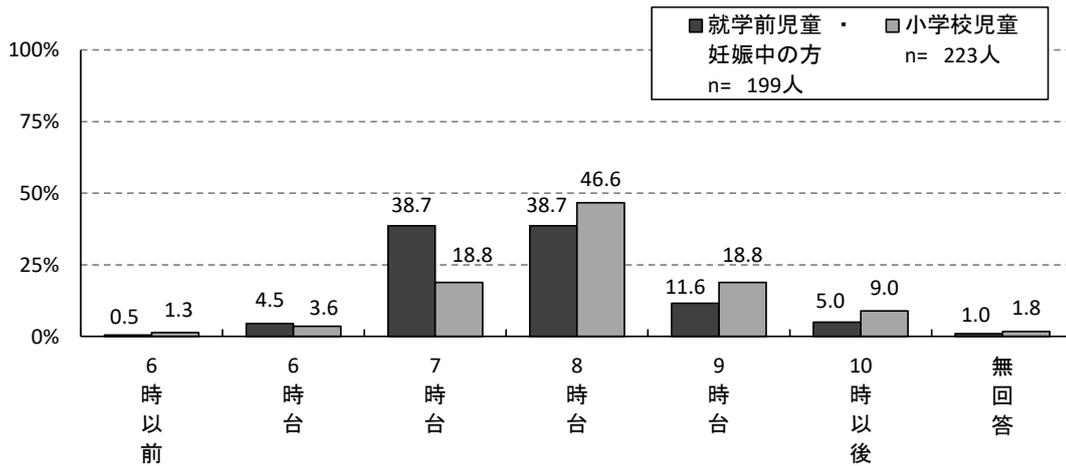


問 14(1)-1 [問 7(1)-1] 母親の就労時間 (1日当たり) 【経年比較】

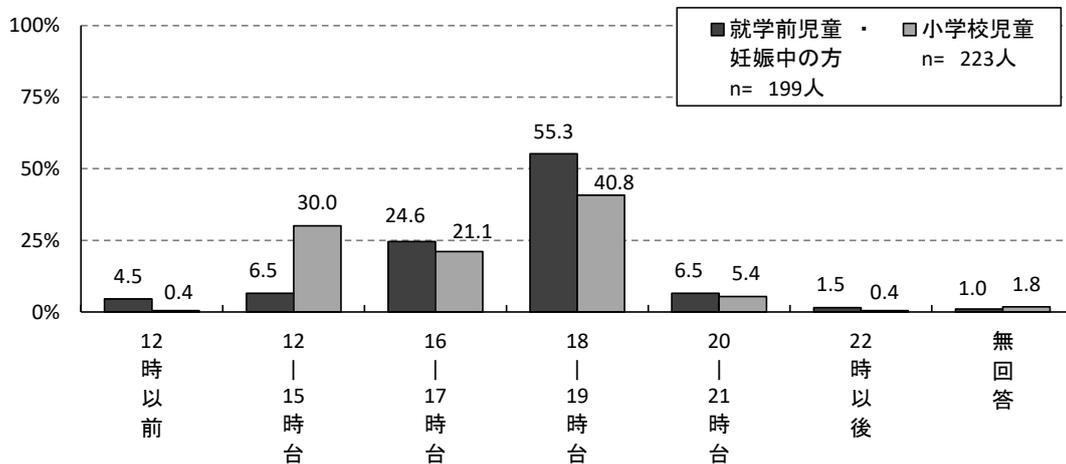


母親の家を出る時間は、「8時台」（就学前児童 38.7%、小学校児童 46.6%）、
「7時台」（就学前児童 38.7%）、帰宅時間は、「18-19時台」（就学前児童
55.3%、小学校児童 40.8%）が最も多くなっています。

問 14(1)-1[問 7(1)-1] 母親の家を出る時間



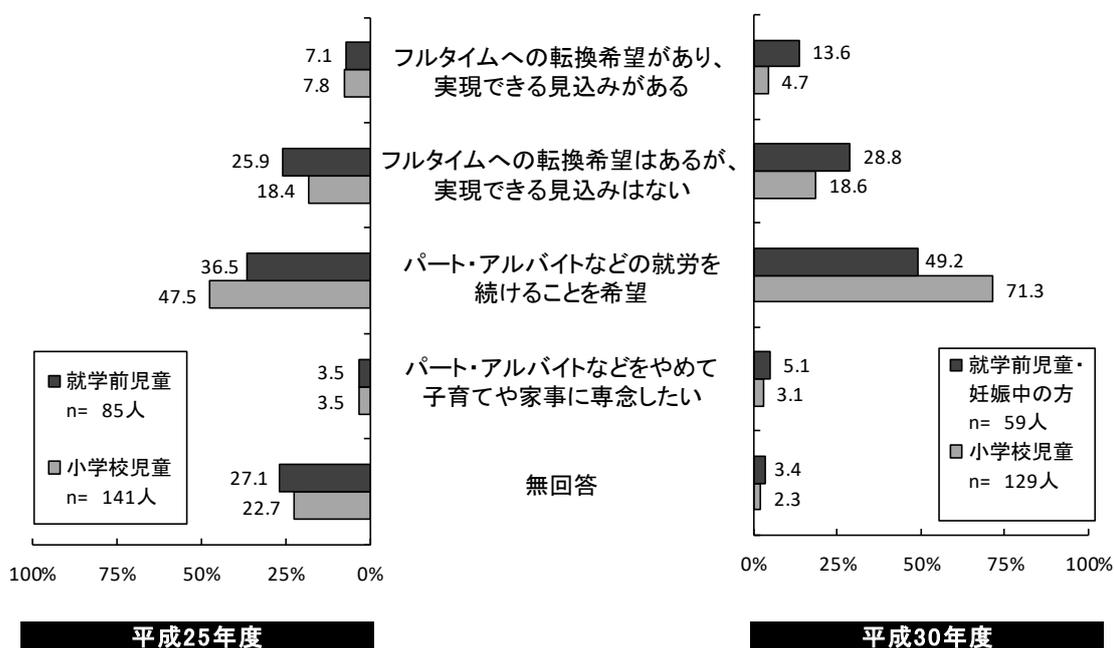
問 14(1)-1[問 7(1)-1] 母親の帰宅時間



母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（就学前児童 49.2%、小学校児童 71.3%）が最も多く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（就学前児童 28.8%、小学校児童 18.6%）となっています。

前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は就学前児童で増加し、小学校児童で減少しており、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」は就学前児童、小学校児童ともに増加しています。

問 14(1)-2[問 7(1)-2] 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向【経年比較】



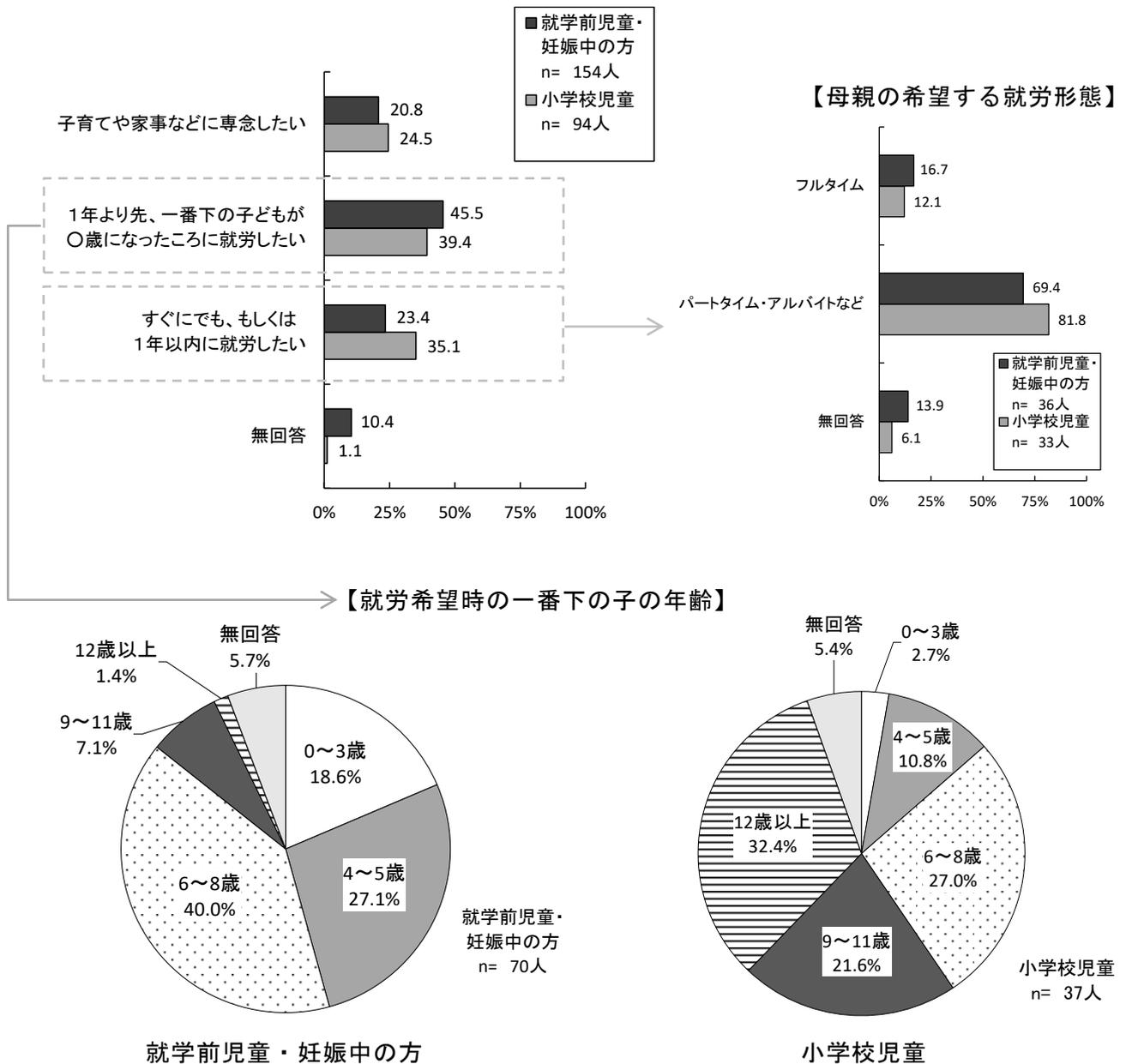
就労していない母親の今後の就労希望は、就学前児童では「1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい」(45.5%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(23.4%)、「子育てや家事などに専念したい」(20.8%)となっており、就労意向は68.9%となっています。

小学校児童では「1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい」(39.4%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(35.1%)となっており、就労意向は74.5%となっています。

就労形態は「パートタイム、アルバイトなど」(就学前児童69.4%、小学校児童81.8%)が最も多くなっています。

就労希望時期となる一番下の子どもの年齢としては「6～8歳」(就学前児童40.0%)、「12歳以上」(小学校児童32.4%)が最も多くなっています。

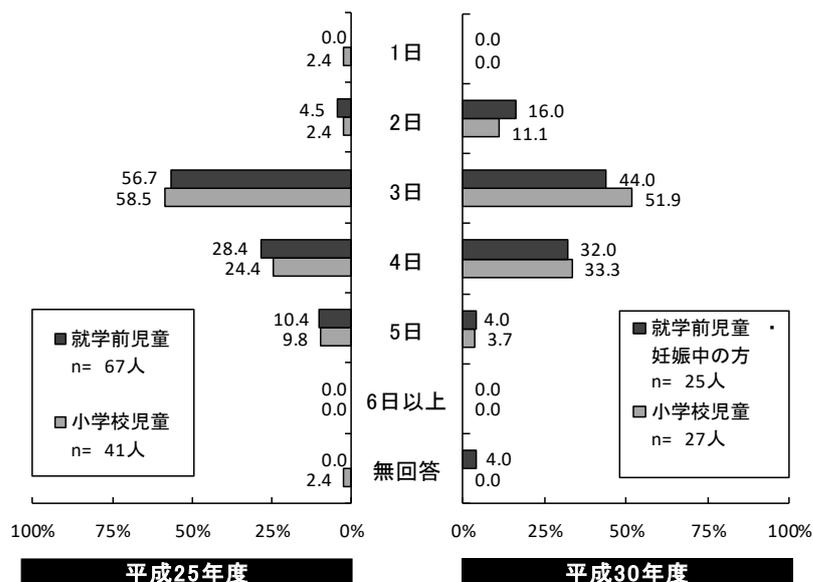
問14(1)-3[問7(1)-3] 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



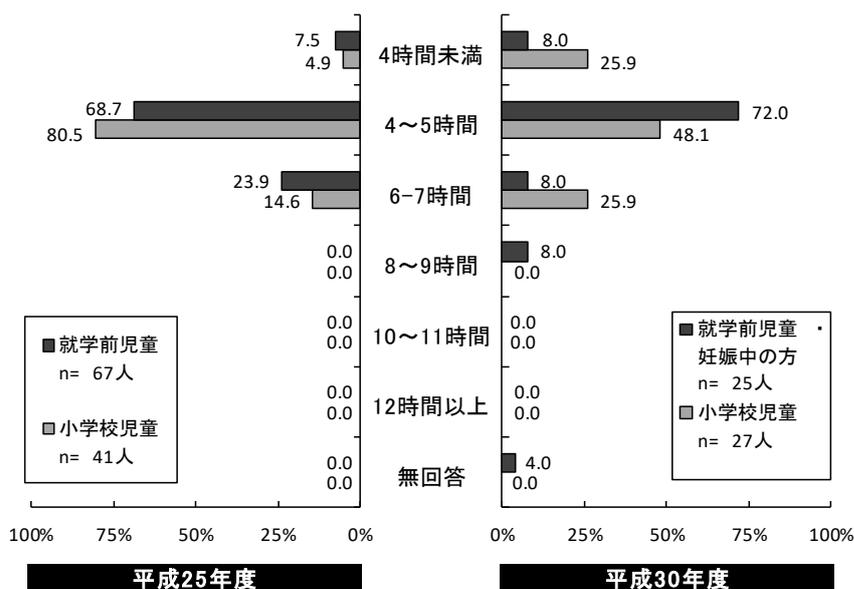
母親の希望する1週当たりの就労日数は「3日」(就学前児童 44.0%、小学校児童 51.9%)が最も多くなっています。

希望する1日当たりの就労時間は「4-5時間」(就学前児童 72.0%、小学校児童 48.1%)が最も多くなっており、前回調査と比較すると、就学前児童で大きく増加しています。

問 14(1)-3[問 7(1)-3] 母親の希望就労日数(1週当たり)【経年比較】



母親の希望就労時間(1日当たり)【経年比較】

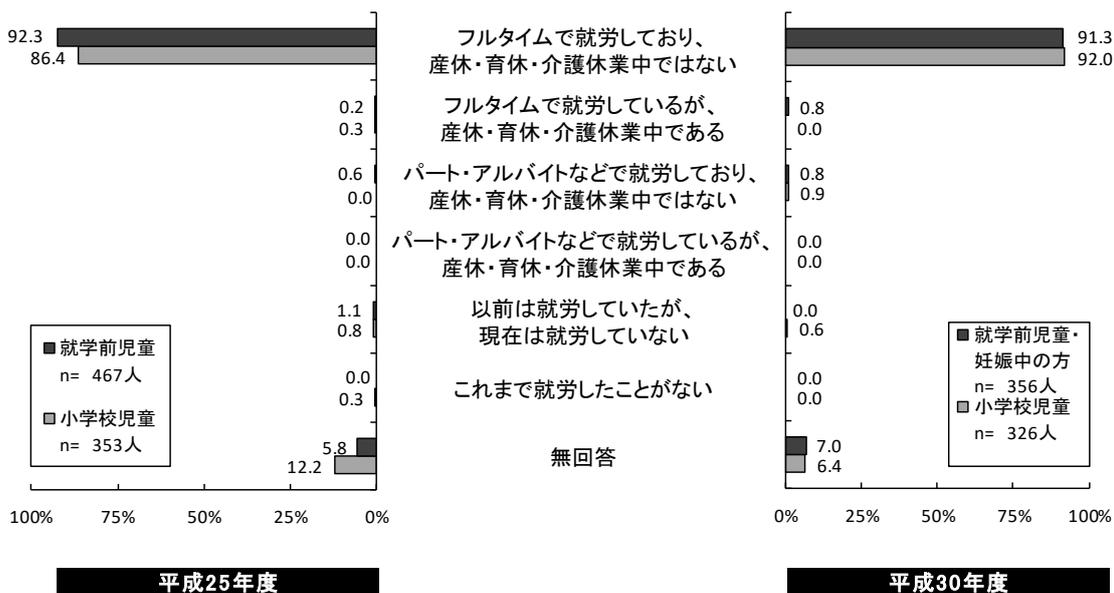


(2) 父親の就労状況

父親の就労状況は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(就学前児童 91.3%、小学校児童 92.0%) が最も多くなっています。

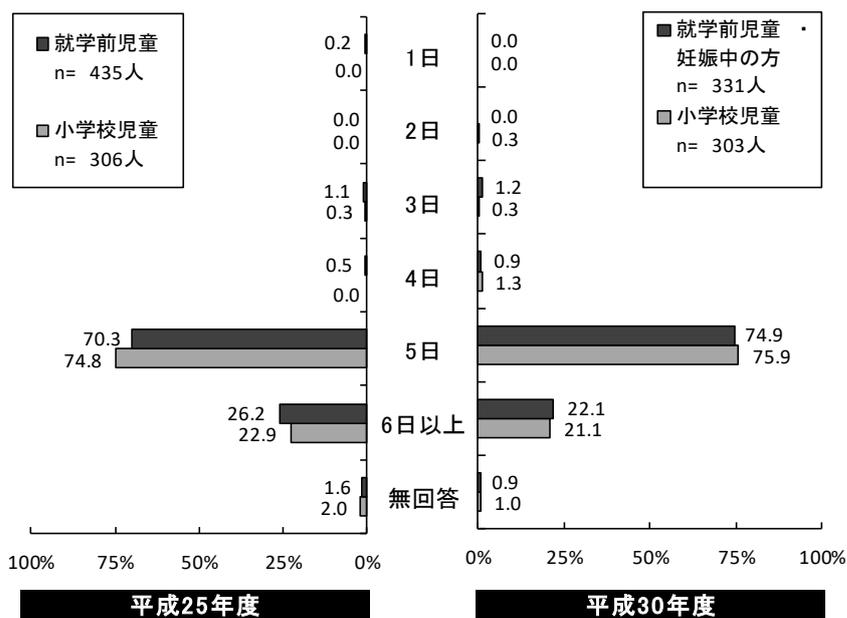
前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」は小学校児童で増加していますが、全体としては前回とほぼ同様の傾向となっています。

問 14(2) [問 7(2)] 父親の就労状況【経年比較】

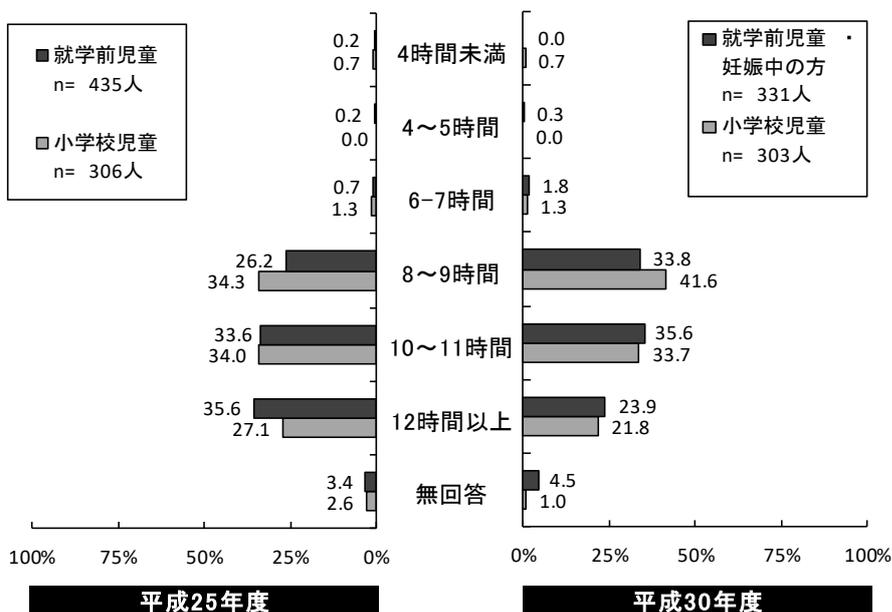


父親の1週当たりの就労日数は「5日」（就学前児童 74.9%、小学校児童 75.9%）が最も多くなっており、前回調査と比較すると増加しています。
 1日当たりの就労時間は、就学前児童・小学校児童ともに「8～9時間」「10～11時間」が（30%台～40%台）となっています。
 前回調査と比較すると、「12時間以上」は減少し、「8～9時間」が増加しています。

問 14(2)-1[問 7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）【経年比較】

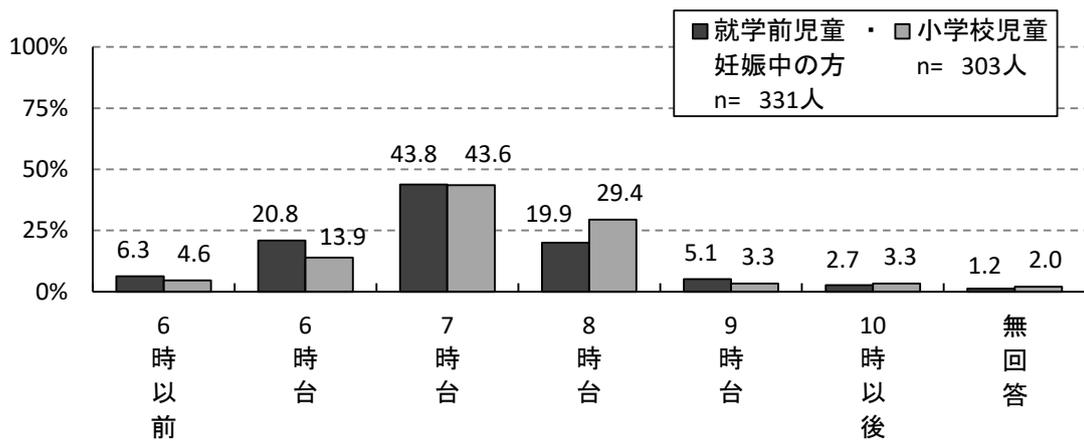


父親の就労時間（1日当たり）【経年比較】

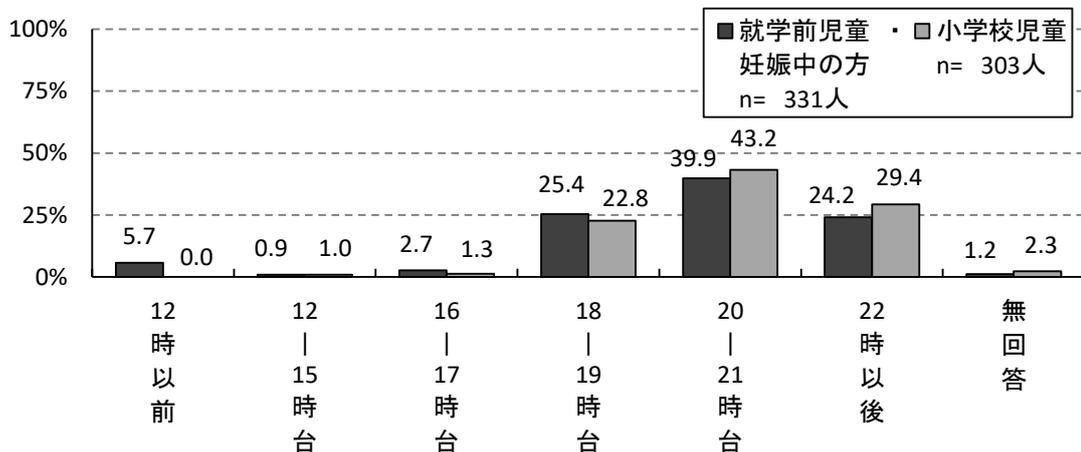


父親の家を出る時間は、「7時台」（就学前児童 43.8%、小学校児童 43.6%）が最も多くなっています。
 帰宅時間は、「20-21 時台」（就学前児童 39.9%、小学校児童 43.2%）が多くなっています。

問 14(2)-1[問 7(2)-1] 父親の家を出る時間



問 14(2)-1[問 7(2)-1] 父親の帰宅時間

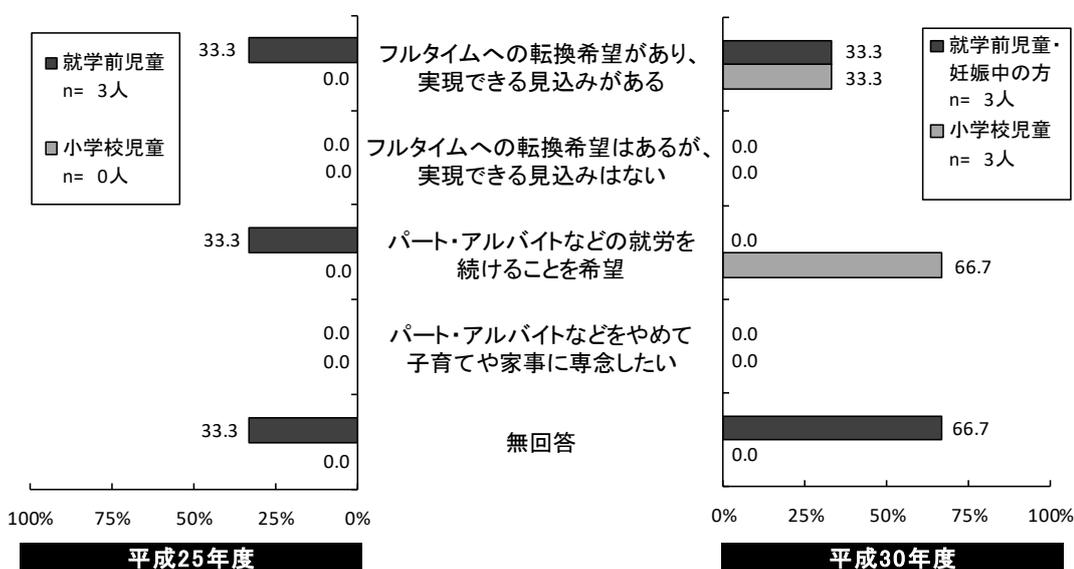


父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向は、就学前児童では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が1名（33.3%）となっています。

小学校児童では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が1名（33.3%）、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2名（66.7%）となっています。

前回調査と比較すると、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」は小学校児童で増加しています。

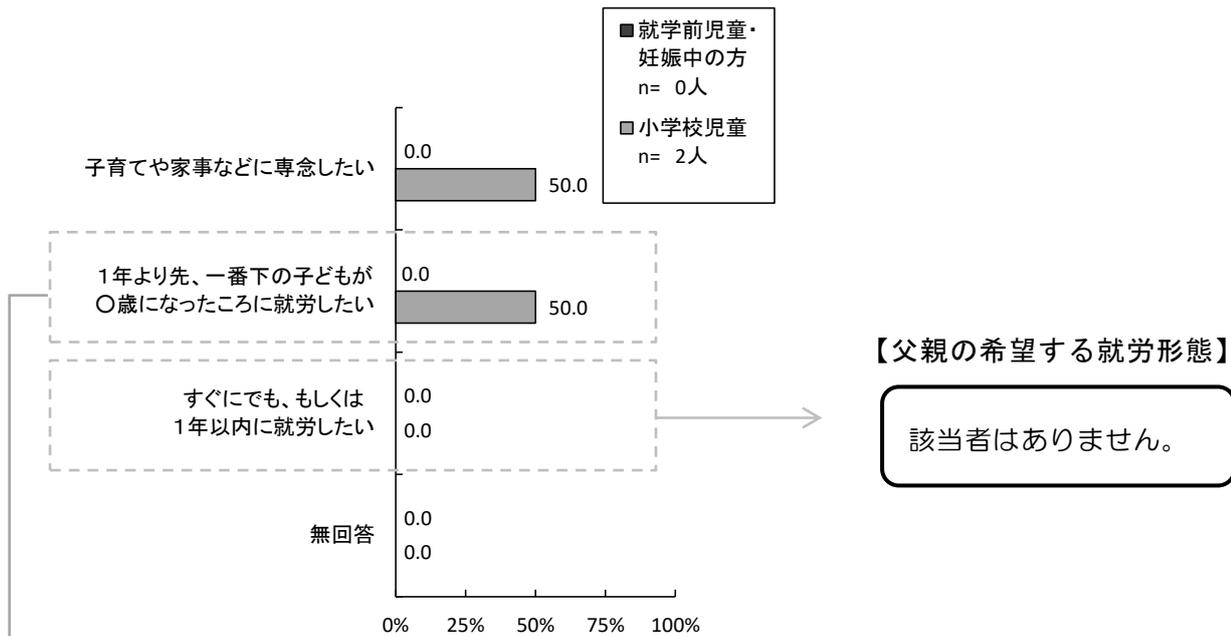
問 14(2)-2[問 7(2)-2] 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向【経年比較】



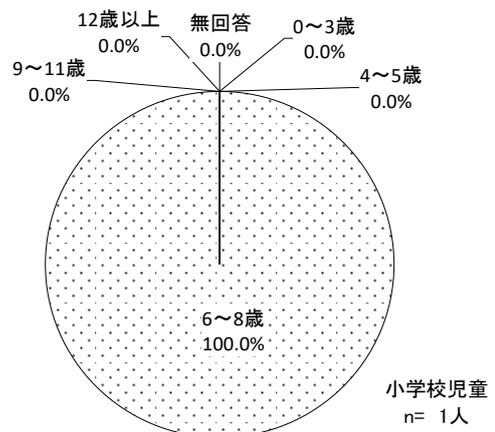
就労していない父親の今後の就労希望は、就学前児童では該当者がありません。

小学校児童では「子育てや家事などに専念したい」「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が各1名（50.0%）となっています。就労希望時の一番下の子の年齢は「6～8歳」（100.0%）となっています。

問14(2)-3[問7(2)-3] 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



【就労希望時の一番下の子の年齢】

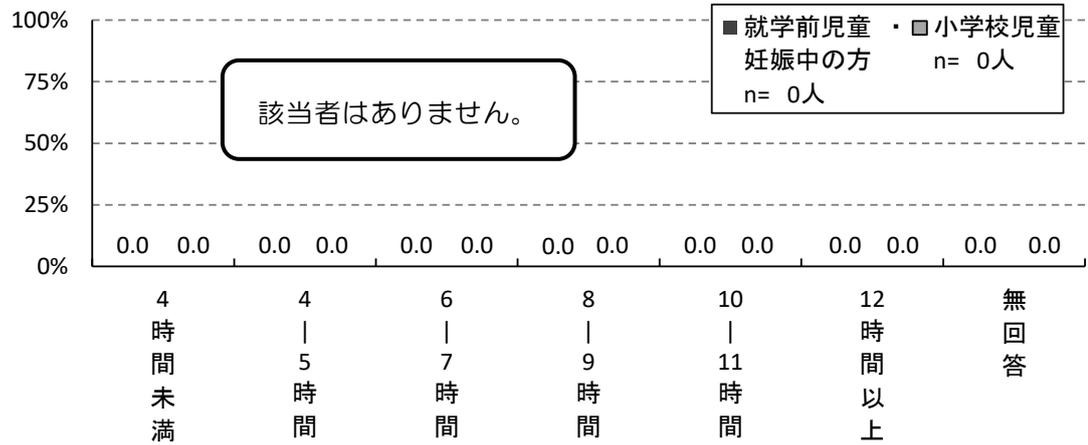
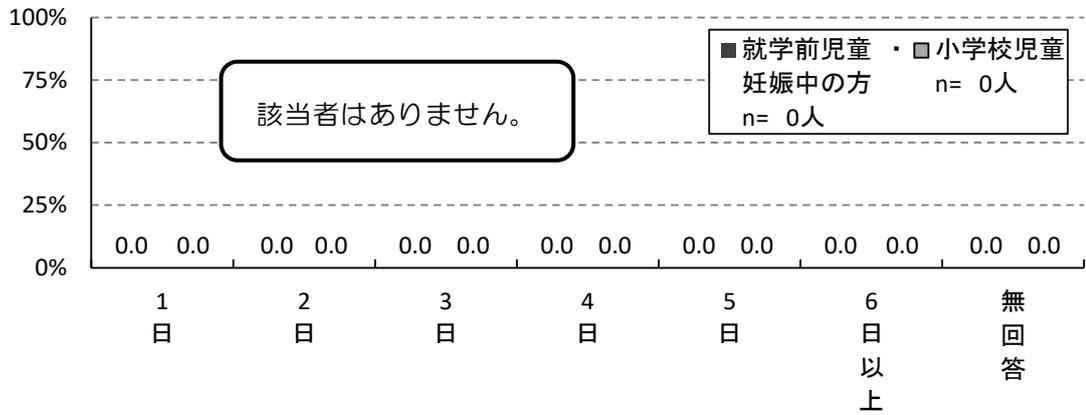


就学前児童の該当者はありません。

就学前児童・妊娠中の方

小学校児童

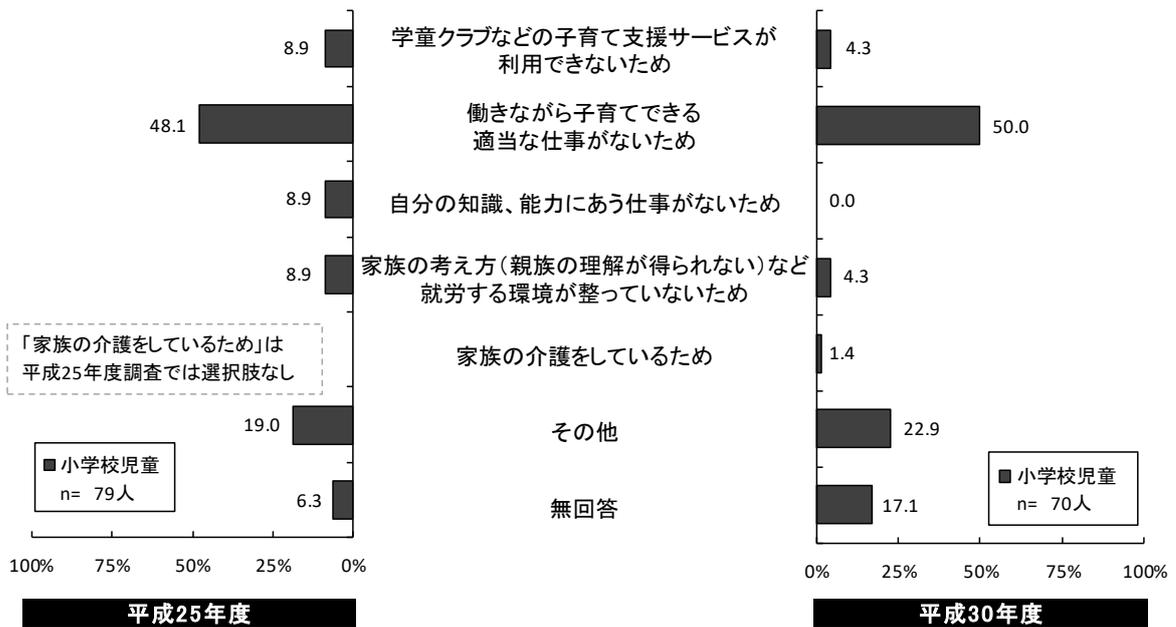
問 14(2)-3[問 7(2)-3] 父親の希望就労日数と希望就労時間



母親の就労希望者で働いていない理由は、「働きながら子育てできる適当な仕事がないため」(50.0%)、「学童クラブなどの子育て支援サービスが利用できないため」「家族の考え方(親族の理解が得られない)など就労する環境が整っていないため」(各 4.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「自分の知識、能力にあう仕事がないため」「学童クラブなどの子育て支援サービスが利用できないため」は減少しています。

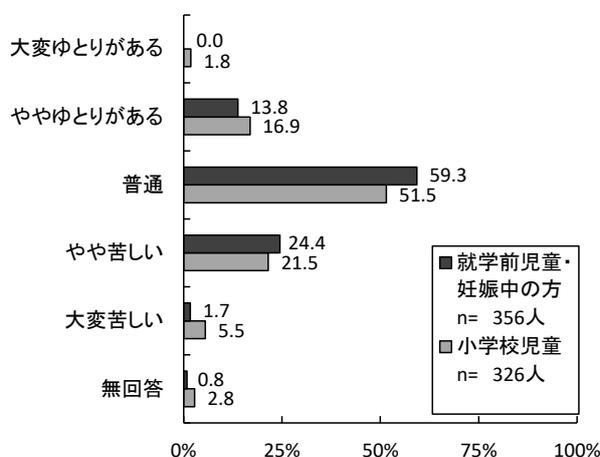
【問 7(1)-4】 就労希望者の働いていない理由(母親)【経年比較】



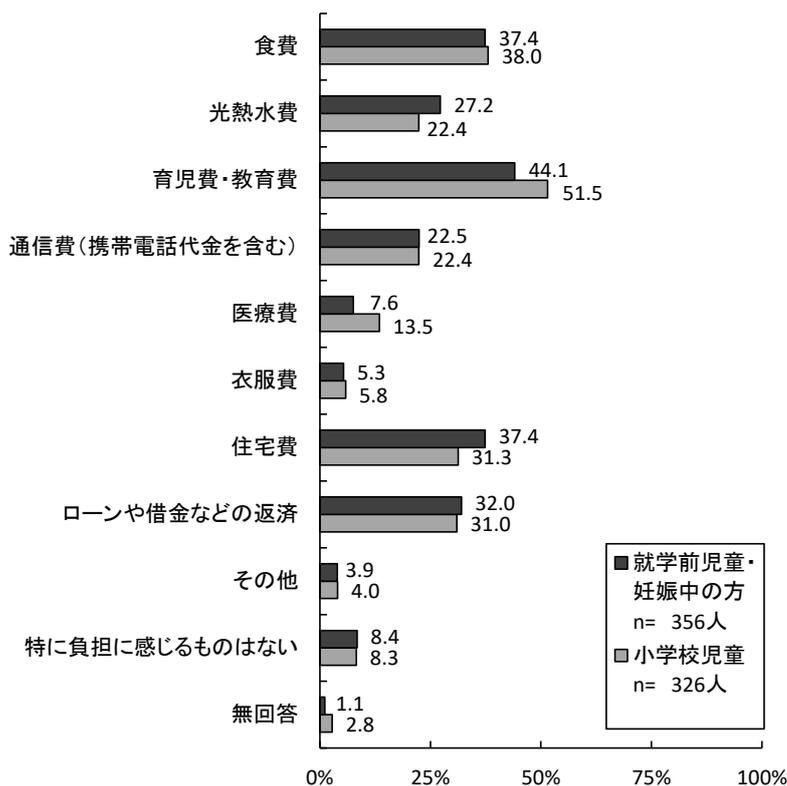
3 家庭の暮らし向きについて

総合的な暮らしの状況では、「普通」(就学前児童 59.3%、小学校児童 51.5%)、「やや苦しい」(就学前児童 24.4%、小学校児童 21.5%)が多くなっています。
 生活費の中で負担に感じるものは、「育児費・教育費」(就学前児童 44.1%、小学校児童 51.5%)、「食費」(就学前児童 37.4%、小学校児童 38.0%)、「住宅費」(就学前児童 37.4%、小学校児童 31.3%)が多くなっています。

問 36[問 38] 総合的な暮らしの状況



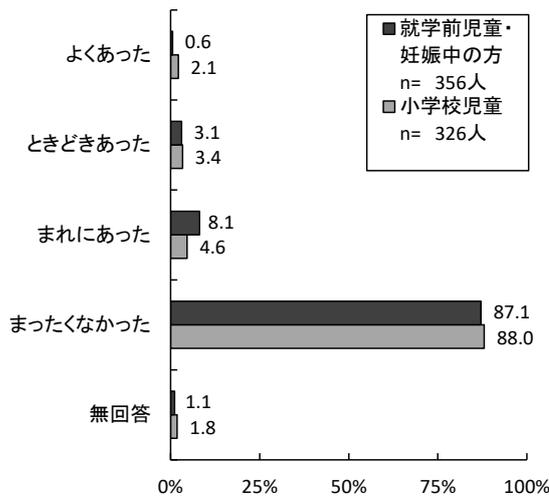
問 37[問 39] 生活費の中で負担に感じるもの



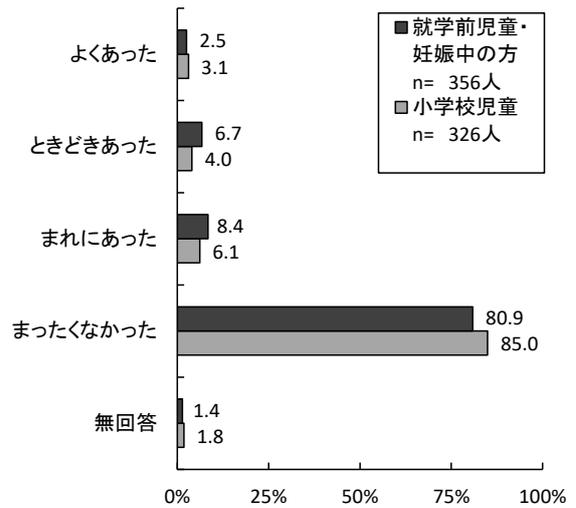
過去1年間の間に、お金が足りずに家族が必要とするものを買えないことがあったかでは、すべての項目で「まったくなかった」が最も多くなっています。
 「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」ともに、「衣類」が他の項目よりも多くなっています。

問 38[問 40] 過去1年間に、必要なものを買えなかったこと

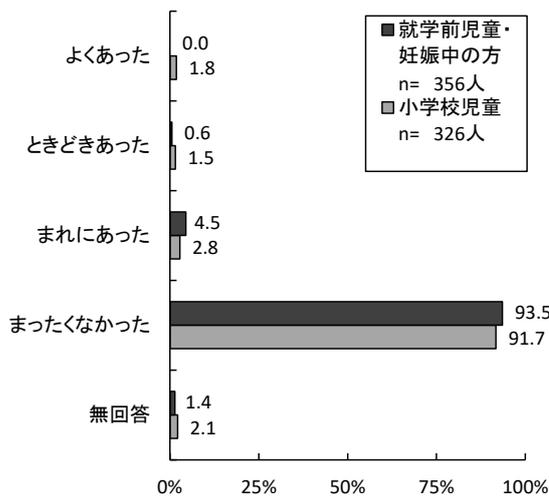
【食料】



【衣類】



【光熱水費】



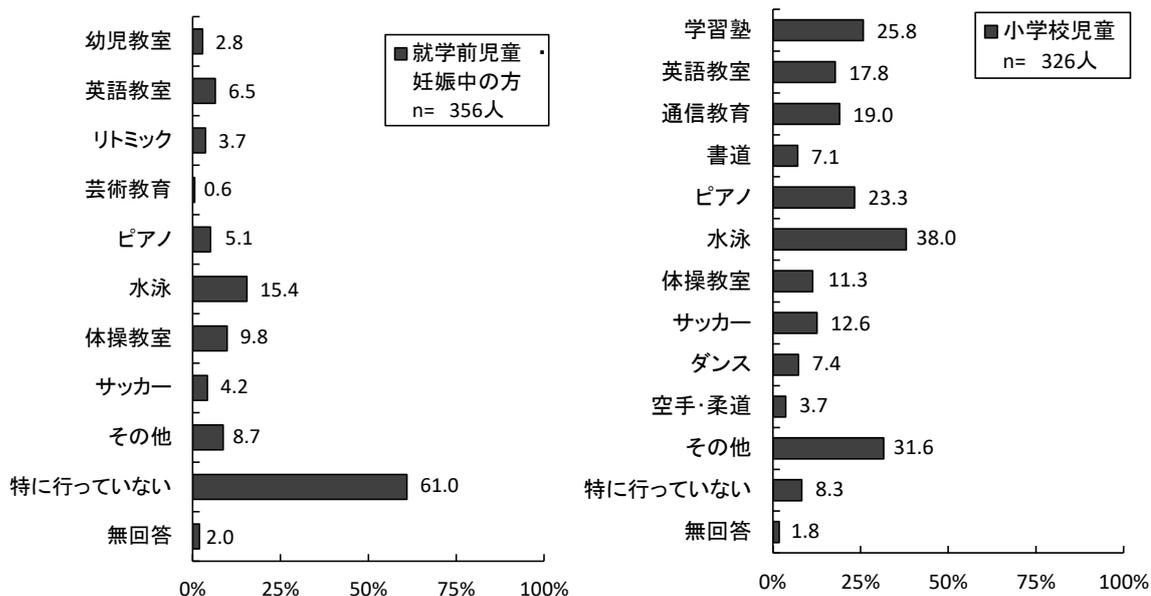
現在習い事をしているかでは、就学前児童で「特に行っていない」(61.0%)が、小学校児童では「水泳」(38.0%)が最も多くなっています。

習い事をしていない理由では、「子ども自身が興味を持っていないから」(就学前児童 30.4%、小学校児童 66.7%)、「費用の支払いが困難」(就学前児童 20.3%、小学校児童 40.7%)が多くなっています。

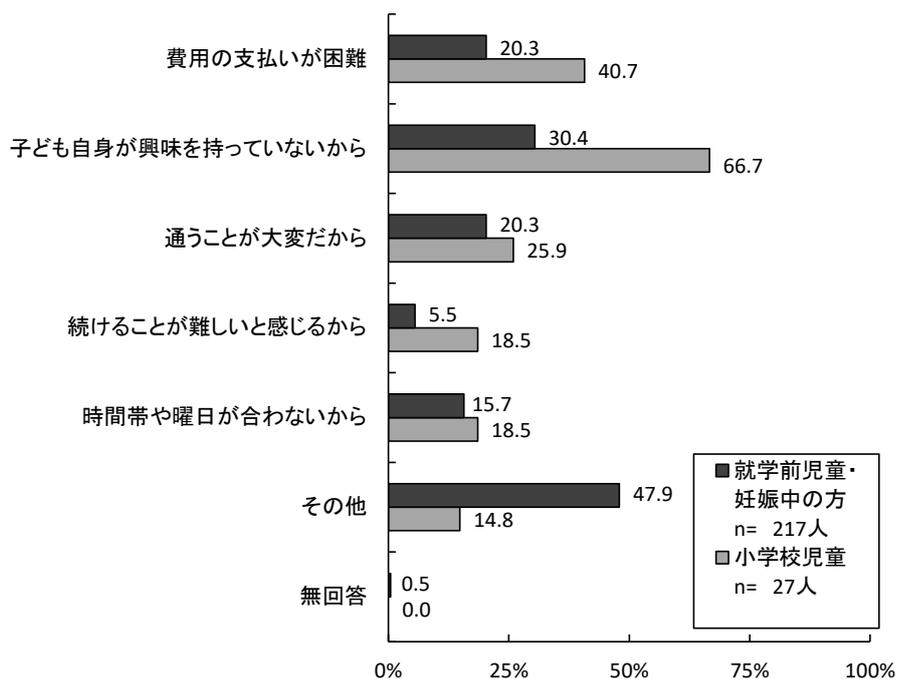
問 39[問 41] 習い事をしているか

【就学前児童・妊娠中の方】

【小学校児童】



問 39-1[問 41-1] 習い事をしていない理由

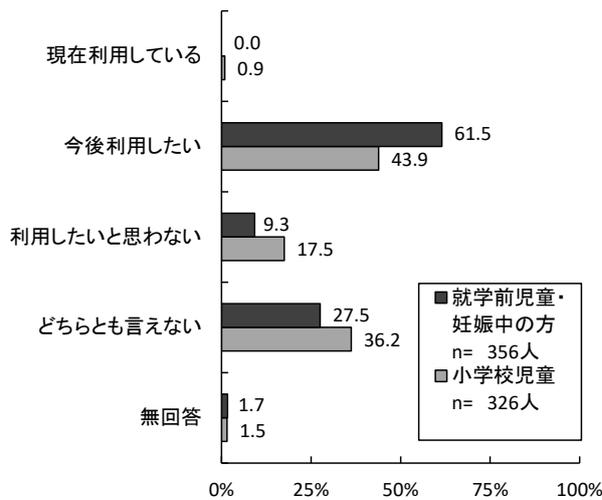


ボランティア等による、無料の学習支援制度については、「今後利用したい」（就学前児童 61.5%、小学校児童 43.9%）が最も多くなっています。

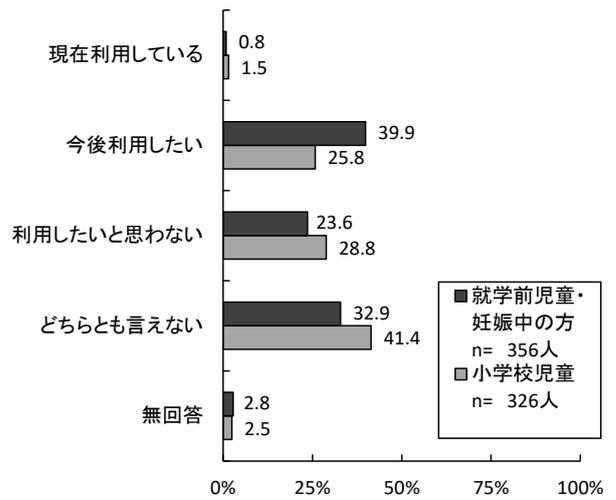
子ども食堂については、「どちらとも言えない」（就学前児童 32.9%、小学校児童 41.4%）、「今後利用したい」（就学前児童 39.9%、小学校児童 25.8%）が多くなっています。

問 40[問 42] 無料の学習支援制度や子ども食堂の利用希望

【無料の学習支援】



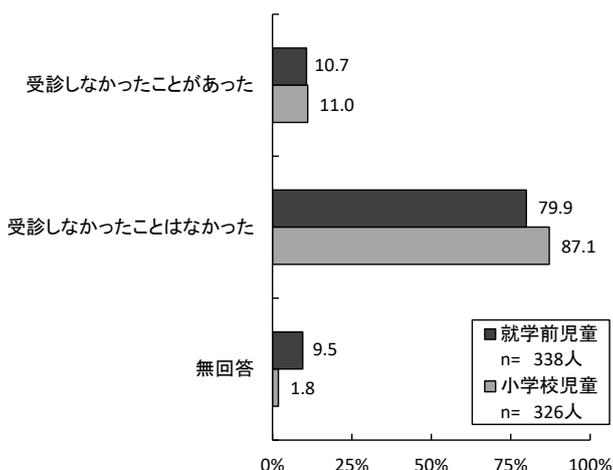
【子ども食堂】



過去1年間に、子どもについて病気やけがの治療のために、病院などを受診した方がよいと思ったのに受診しなかったことについては、「受診しなかったことはなかった」は就学前児童 79.9%、小学校児童 87.1%、「受診しなかったことがあった」は就学前児童 10.7%、小学校児童 11.0%となっています。

受診しなかった理由は、「病院や診療所に行く時間がなかったため」（就学前児童、小学校児童ともに 72.2%）が最も多くなっています。

問 41[問 43] 過去1年間に必要があるが、病院などを受診しなかったこと



問 41.1[問 43.1] 受診しなかった理由

